

令和元年6月30日

静岡県知事

川勝平太 殿

法人の名称

一般財団法人静岡市動物園協会

代表者の氏名 湯本昌人

公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、別紙のとおり 平成 30 年度（平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで）の公益目的支出計画実施報告書等を提出いたします。

【別紙1: 法人の基本情報】

法人コード	A003966
-------	---------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンザイダンホウジンシズオカシドウブツエンキョウカイ				
法人の名称	一般財団法人静岡市動物園協会				
主たる事務所の住所及び連絡先					
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等		補足住所
	422-8005	静岡県	静岡市駿河区池田1767番地の6		
代表電話番号	054-262-3252		内線		FAX番号 054-262-7135
代表電子メールアドレス	kyokai@nhdzoo.jp				
ホームページの有無	有				
ホームページアドレス	http://www.szga.jp/				
代表者の氏名	湯本昌人				
事業年度	04 月 01 日	～	03 月 31 日		
事業の概要	本財団法人は静岡市と協働連携により、動物園事業の発展振興と動物愛護思想の普及を目的とする公益目的事業をはじめ、動物園運営を支える受託事業、来園者に飲食物販等のサービスを提供する収益事業を実施している。				

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【 平成 30 年度(平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	134,792,273 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	141,083,172 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	119,467,994 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	22,259,991 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	644,813 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	-6,290,899 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	当該事業に係る公益目的支出の額について、動物愛護のための体験活動及び教育普及事業を充実させるため、動物飼育及び幼児教育の経験者を雇用したことにより計画と差異が生じた。なお、公益目的支出計画全体には影響を与えない。

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和2年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	平成31年3月31日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	134,792,273 円	134,792,273 円	134,792,273 円	134,792,273 円	0 円
公益目的収支差額	124,614,000 円	119,467,994 円	142,416,000 円	141,083,172 円	0 円
公益目的支出の額	18,360,000 円	21,035,596 円	18,360,000 円	22,259,991 円	0 円
実施事業収入の額	558,000 円	701,074 円	558,000 円	644,813 円	0 円
公益目的財産残額	10,178,273 円	15,324,279 円	-7,623,727 円	-6,290,899 円	0 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

(1)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(公益目的事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
公 1	動物愛護のための体験活動及び教育普及事業並びにボランティアの育成

(1) 計画記載事項

事業の概要
<p>(事業の内容) 静岡市立日本平動物園(以下「動物園」という。)は、市内児童生徒の「一円募金」をはじめとする市民の寄付が相次ぎ寄せられ、多くの市民の熱意で昭和44年に誕生しました。現在でも有数の公立動物園の一つとして市民のみならず、県民等にも親しまれる動物園として多くの方々に利用されています。 こうしたなか、静岡市動物園協会(以下「協会」という。)は当該動物園の開園時から、動物園関係事業として、飼育、研究等を担当する動物園(静岡市)と共に動物の愛護運動を通じ、情操教育、環境教育を推進し、命の大切さ、自然環境と生き物との関わりを考える機会を提供し、お年寄りや障害者の方々に対しては、癒しの享受に努めることをもって、児童の健全な育成及び地域社会の健全な発展等に寄与する事業を実施してまいりました。 近年では、動物園の活用方法にも変化が現れ、生涯学習の場の一つとなるなかで、協会では各事業を推進するためボランティアの育成・指導に力を注いでおります。 下記の事業細目は、共通の目的を達成する手段と位置付けられることから一つの公益目的事業として申請致します。</p> <p>1. 動物愛護のための体験活動及び教育普及事業 動物愛護運動の背景には、現在、世界で多くの絶滅危惧種に指定されている動物の存在があります。静岡市立日本平動物園にもアムールトラ、カンムリシロムク、レッサーパンダ、オオアリクイ、フンボルトペンギン、ホッキョクグマなど、たくさんの絶滅危惧動物を飼育しています。例えば、動物園で老若男女を問わず誰からも人気を博しているホッキョクグマのロッキーも絶滅危惧種です。ホッキョクグマは、温暖化により北極の氷面積が減少している中、氷上を活動範囲としているため、住める場所がなくなりつつあります。 協会では、このような状況をより多くの利用者に知ってもらうべく動物園と協働し、子供たちに動物愛護の心を育み、命の大切さを学ぶ情操教育、絶滅危惧種から環境問題を考える環境教育に力を注いでおります。 具体的には、「めざせ動物園博士」というクイズ形式での動物への理解促進イベントを開催しております。初心者を対象とした入門コースでは、園内を周回するクイズラリー形式で実施され、クイズ終了後には解説ガイドツアーを開催し、実際の動物を見ながらクイズの解説することで参加者の動物への理解を深めております。さらに、入門コース修了者を対象とし、より深い知識を身につけるための専門コースも設けております。専門コースは4つのコースに分かれており、各コースのテーマに沿ってレクチャーがなされ、普段は見ることのできない写真や標本を使用するなど入門コースよりも専門的な知識を身につけることが出来ます。全ての専門コース修了者には動物園博士の称号を付与しております。また、本年度においては動物園博士を対象とした「日本平動物園学会」も開催し、将来的にはガイドボランティア・リーダーの育成を目指しております。 「めざせ動物園博士」以外におましても、「動物園親子教室」という取組みにおいては、3歳から5歳の幼児を対象にリトミック、動物絵本の読み聞かせや紙芝居等を実施し、合わせて動物の糞を利用したハガキ作り等の工作作業も実施することで、動物との距離を身近に感じられるような、幼児期の情操教育に力を入れております。 また、動物園との協働、ガイドボランティアの協力を得て、動物園内のツアーガイドを実施しております。ツアーガイドは小学低学年から中学生、更には一般に至るまで団体ごとに申込を受付け、ガイドコースをテーマごとに設定し、動物の体の仕組みや、環境問題等を学習する人気の事業です。 一方、地域社会の健全な発展を目的に、協会と市教育委員会が連携して、中学生の職場体験学習に積極的に取り組んでいます。主な体験内容は、園内の売店・レストランでの販売業務、遊具施設の接客や園内の清掃業務の体験です。これらの業務を体験し、働くことの大変さ、人との接し方を学習することで、中学生としての望ましい勤労観や職業観を育み、将来社会人として自立するための基礎を養う機会を提供しております。 さらに上記事業目的の遂行上、より多くの来園者を確保し、園内イベントへの参加拡充を進めていくことが極めて重要な事項であると考えております。このため、動物園と協働し、県内外の保育園、幼稚園、学校等へパンフレットの送付、市内宿泊施設との連携、また、市(動物園)と役割を分担し、当協会はJR東海道線県内駅構内、身延線駅構内、県東部地区及び山梨県方面の路線バスにキャンペーンポスターを掲出し、動物園内イベントの紹介等、積極的にPRに努めております。 さらに、来園して頂いた方々には、カレンダー&ポスタークレーンダープレゼントや、機関誌「ZOOしづおか」を発行することを通じて、動物園の歴史や、動物園内施設等を紹介し、動物園に対する満足度を高める努力をしております。</p> <p>2. ボランティアの育成 日本平動物園では地域資源の核の一つとなるよう再整備事業を進めており、平成22年度に完成した「猛獣館」に続いて、平成25年度のグランドオープンに向けて市県民の動物園への関心が高まっております。こうした中、動物園に求められる役割の一つに「教育の場」であることが挙げられます。動物園では、貴重な野生動物の飼育及び展示をしていますが、「生命」をとおして自然環境の多様性を実感することができます。 こうしたことから日本平動物園では、動物園、協会、ボランティアの3者が協働し、来園者の皆様に動物園の魅力をより深く知つていただくため、「ツアーガイド」や「ふれあい事業」をとおして「生命」を感じることのできる事業を実施しております。 協会では各事業を推進するためボランティアの事務局として、ホームページ、広報紙によるボランティア募集、動物園の協力のもと、実際に飼育されている動物を一番近くから観察する機会の多い獣医師、飼育員による「生態学」や「動物の体の仕組み」といった講座の企画をとおしてボランティアの育成・指導を実施しており、また、当協会の機関誌「ZOOしづおか」の発行において、ガイドボランティア活動の積極的な紹介を推進することにより当該ボランティア団体及び活動の活性化に寄与しております。ボランティア参加者は18歳未満の生徒、児童については保護者の許可または同伴を条件としていますが、親子ボランティアをはじめ高校生からシニアまで幅広い年齢層から構成され約100名の方がボランティア登録して活動しております。</p>

① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	18,360,000 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	558,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

1.動物愛護のための体験活動及び教育普及事業

当協会では、子供たちに動物愛護の心を育み、命の大切さを学ぶ情操教育、絶滅危惧種から環境問題を考える環境教育に力を注いでいます。

当該事業年度の実績としては、動物への理解促進イベント「めざせ動物園博士」入門コースを2回(25名参加)、専門コース4回(44名参加)計6回を実施したほか、7月と11月には前述のイベントにおいて動物園博士として認定された方を対象とした「日本平動物園博士学会」を実施しました。

また、「動物園親子教室」は、おおむね4歳の幼児と保護者を対象にしたものでレッサーパンダ、ホッキョクグマなどをテーマに、動物絵本の読み聞かせや紙芝居、親子で工夫して創作するアニマル工作を実施し、幼児期における情操教育に積極的な約40組の親子の参加がありました。

一方、地域社会の健全な発展を目的に当協会と市教育委員会が連携して、中学生の職場体験学習に積極的に取り組んでいます。主な体験内容は、園内の売店・レストハウスでの販売業務、遊具施設の接客や園内の清掃業務の体験です。これらの業務を体験し、働くことの大変さ、人との接し方を学習することで、中学生としての望ましい勤労観や職業観を育み、将来社会人として自立するための基礎を養う機会を提供するもので、市内の中学校3校から9名の中学生が参加しました。

さらに、上記事業目的の遂行上、より多くの方にご来園いただき、園内イベントへの参加拡充を進めていくことが極めて重要な事項であることから、本年度は季節毎の動物園まつりの実施に先立ち、県内外の保育園、幼稚園、学校、観光会社等へパンフレット、イベント案内約14万部を作成し配布しました。

また、市(動物園)と役割を分担し、当協会では観光マップにキャンペーンポスターを掲示し、動物園内イベントの紹介等積極的にPRに努めました。

その他、花のボランティアや静岡市造園緑化協会との協働事業として、日本平動物園内の花壇を定期的に整備し、花によって季節を感じることができる園内美化活動を実施しました。

2.ボランティアの育成

日本平動物園では、動物園、協会、ボランティアの3者が協働し、来園者の皆様に動物園の魅力をより深く知っていただくための取り組みとして、小学生から大人まで学びながら園内を周回することができる「ツアーガイド」を実施し1,713名の方の利用がありました。

また、当協会では各事業を推進するためボランティアの事務局として、ホームページや広報紙によるボランティア募集、動物園の協力による講座の企画、他の教育施設におけるボランティアとの交流を通じてボランティア活動が魅力あるものであるよう工夫しながら育成・指導を実施しており、現在約100名の方がボランティアとして意欲的に活動しております。

① 当該事業に係る公益目的支出の額	22,259,991 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	644,813 円
③ (①-②)の額	21,615,178 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	22,259,991 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	644,813 円

①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由^{注1}

当該事業に係る公益目的支出の額について、動物愛護のための体験活動及び教育普及事業を充実させるため、動物飼育及び幼児教育の経験者を雇用したことにより計画と差異が生じた。なお、公益目的支出計画全体には影響を与えない。

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}		資産の名称	時価評価資産の算定日の時価	移行後に取得した場合の取得価額	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
口	1	公社債投信	5,386,057 円	0 円	5,400,052 円	5,400,052 円	計画記載どおり運用益を当該事業に使用
a	1	建物及び付属設備	2,863,421 円	0 円	878,334 円	731,654 円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用
a	2	車両運搬具	758,310 円	0 円	3 円	3 円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用
a	3	什器備品	671,346 円	0 円	34,216 円	30,484 円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用

注2:算定期日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2…a1など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
運用益(特定資産受取利息)	47,600 円	47,600 円	実施事業資産から生じた収益として実施事業収入とする。
事業収益(教育普及事業収益)	134,365 円	134,365 円	公1についての教育普及事業収益は、実施事業に係る対価収入であるため、実施事業収入とする。
運用益(受取利息)	1,000 円	1,000 円	実施事業資産から生じた収益として実施事業収入とする。
雑収益(雑収益)	461,848 円	461,848 円	機関紙発行による協賛金収入であり、実施事業収入とする。
計	644,813 円	644,813 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	22,259,991 円	22,259,991 円	①損益計算書の費用の額と②公益目的支出の額に異なる費用科目はない。
	円	円	
計	22,259,991 円	22,259,991 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

別表A[公益目的支出計画実施報告書]

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
その他の主要な事業の内容や実施方法に変更はないため、公益目的支出計画の実施に対する影響等はない。

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。
なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記入してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
多額の借入れや施設の更新、高額財産の取得・処分等、公益目的支出計画に影響を及ぼす活動は実施していない。

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したものの中、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。
また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記載してください。

別表B[公益目的支出計画実施報告書]

【引当金等の明細】

(1) 実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		事業		期末残高
					目的使用	その他	区分	番号	
1	退職給付引当金	101,591,965 円	7,562,575 円	将来の退職給付の見込額を計上している。	15,154,480 円	0 円	公	1	94,000,060 円
		円	円		円	円			0 円
		円	円		円	円			0 円

(2) (1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		期末残高
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0 円
		円	円		円	円	0 円

(3)「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたもの^注

番号	財産の名称	期首の価額	当期増加額	目的	当期減少額		期末の価額
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0 円
		円	円		円	円	0 円

注:算定日において、退職給付会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合については、当該未処理額は記載不要です。なお特に記載すべき内容がない場合は空欄のままにしてください。

貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	63,212,273	72,634,350	-9,422,077
現金	8,658,120	7,657,470	1,000,650
小口現金	169,864	188,639	-18,775
普通預金	43,217,963	53,621,915	-10,403,952
公社債投信	1,166,326	1,166,326	0
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
未収金	20,946,620	15,776,554	5,170,066
前払金	75,850	26,800	49,050
商品	2,916,300	1,154,930	1,761,370
仮払金	68,068	0	68,068
流動資産合計	87,219,111	89,592,634	-2,373,523
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	94,000,060	101,591,965	-7,591,905
減価償却引当資産	24,909,744	24,414,710	495,034
運営資金積立資産	19,569,559	19,569,559	0
設備投資積立資産	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	148,479,363	155,576,234	-7,096,871
(2) その他固定資産			
建物	518,375	539,704	-21,329
建物及び付属設備	731,654	878,334	-146,680
車両運搬具	3	3	0
什器備品	829,530	1,323,127	-493,597
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
預託金	11,390	11,390	0
その他固定資産合計	12,090,952	12,752,558	-661,606
固定資産合計	160,570,315	168,328,792	-7,758,477
資産合計	247,789,426	257,921,426	-10,132,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	8,502,637	6,946,258	1,556,379
未払金	16,884,989	14,125,596	2,759,393
預り金	1,472,688	1,517,221	-44,533
仮受金	22,248	0	22,248
未払法人税等	3,507,050	6,244,750	-2,737,700
流動負債合計	30,389,612	28,833,825	1,555,787
2. 固定負債			
退職給付引当金	94,000,060	101,591,965	-7,591,905
固定負債合計	94,000,060	101,591,965	-7,591,905
負債合計	124,389,672	130,425,790	-6,036,118
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	123,399,754	127,495,636	-4,095,882
一般正味財産合計	123,399,754	127,495,636	-4,095,882
(うち特定資産への充当額)	54,479,303	53,984,269	495,034
正味財産合計	123,399,754	127,495,636	-4,095,882
負債及び正味財産合計	247,789,426	257,921,426	-10,132,000

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

科 目		実施事業等会計		その他会計		法人会計		内部取引控除		合 計	
		他 1	他 2	共通							
I 1. 一般正味財産増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用利益		47,600	16,200	3,500	0	0	0	0	0	67,300	
特定資産受取利息		47,600	16,200	3,500	0	0	0	0	0	67,300	
事業収益		134,365	176,000,040	174,144,420	0	0	0	0	0	350,278,825	
教育普及事業収益		134,365	0	0	0	0	0	0	0	134,365	
静岡市からの受託料収益		0	176,000,040	0	0	0	0	0	0	176,000,040	
販売事業収益		0	0	169,893,742	0	0	0	0	0	169,893,742	
売店事業収益		0	0	116,307,900	0	0	0	0	0	116,307,900	
食堂事業収益		0	0	41,427,510	0	0	0	0	0	41,427,510	
自動販売機等収益		0	0	12,158,332	0	0	0	0	0	12,158,332	
その他の事業収益		0	0	4,250,678	0	0	0	0	0	4,250,678	
その他の収益		0	0	4,250,678	0	0	0	0	0	4,250,678	
雑収益		462,848	302,450	5,224,106	0	175,200	0	0	0	6,164,604	
受取利息		1,000	0	15,700	0	0	0	0	0	16,700	
雑収益		461,848	302,450	5,208,406	0	175,200	0	0	0	6,147,904	
経常収益計		644,813	176,318,690	179,372,026	0	175,200	0	0	0	356,510,729	
(2) 経常費用											
事業費		22,259,991	0	0	0	0	0	0	0	22,259,991	
職員給料		7,491,480	0	0	0	0	0	0	0	7,491,480	
諸手当		4,929,749	0	0	0	0	0	0	0	4,929,749	
臨時雇賃金		2,305,048	0	0	0	0	0	0	0	2,305,048	
退職給付費用		167,010	0	0	0	0	0	0	0	167,010	
福利厚生費		2,477,067	0	0	0	0	0	0	0	2,477,067	
旅費研修費		145,060	0	0	0	0	0	0	0	145,060	
通信運搬費		287,927	0	0	0	0	0	0	0	287,927	
広報宣伝費		425,631	0	0	0	0	0	0	0	425,631	
消耗什器備品費		67,476	0	0	0	0	0	0	0	67,476	
消耗品費		400,969	0	0	0	0	0	0	0	400,969	
被服費		42,928	0	0	0	0	0	0	0	42,928	
光熱水費		139,791	0	0	0	0	0	0	0	139,791	
印刷製本費		551,625	0	0	0	0	0	0	0	551,625	
賃借料		306,476	0	0	0	0	0	0	0	306,476	
保険料		156,800	0	0	0	0	0	0	0	156,800	
諸謝金		315,987	0	0	0	0	0	0	0	315,987	
租税公課		7,441	0	0	0	0	0	0	0	7,441	
支払負担金		257,000	0	0	0	0	0	0	0	257,000	
支払手数料		2,808	0	0	0	0	0	0	0	2,808	
委託費		1,644,178	0	0	0	0	0	0	0	1,644,178	
雑費		137,540	0	0	0	0	0	0	0	137,540	

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

科 目		実施事業等会計		その他会計		法人会計		内部取引控除		合 計	
		他 1	他 2	共通							
受託事業費		0	170,028,244		0	0	0	0	0	170,028,244	
職員給料		0	44,803,820		0	0	0	0	0	44,803,820	
諸手当		0	35,684,339		0	0	0	0	0	35,684,339	
臨時雇賃金		0	43,019,296		0	0	0	0	0	43,019,296	
退職給付費用		0	6,160,765		0	0	0	0	0	6,160,765	
福利厚生費		0	19,295,091		0	0	0	0	0	19,295,091	
諸謝金		0	379,539		0	0	0	0	0	379,539	
減価償却費		0	166,572		0	0	0	0	0	166,572	
消耗什器備品費		0	304,045		0	0	0	0	0	304,045	
消耗品費		0	2,049,451		0	0	0	0	0	2,049,451	
通信運搬費		0	108,505		0	0	0	0	0	108,505	
被服費		0	338,863		0	0	0	0	0	338,863	
広報宣伝費		0	320,104		0	0	0	0	0	320,104	
燃料費		0	270,048		0	0	0	0	0	270,048	
消耗工具費		0	52,626		0	0	0	0	0	52,626	
修繕費		0	448,811		0	0	0	0	0	448,811	
印刷製本費		0	413,720		0	0	0	0	0	413,720	
保険料		0	713,910		0	0	0	0	0	713,910	
支払手数料		0	575,742		0	0	0	0	0	575,742	
賃借料		0	379,835		0	0	0	0	0	379,835	
委託費		0	1,706,088		0	0	0	0	0	1,706,088	
租税公課		0	12,508,676		0	0	0	0	0	12,508,676	
光熱水費		0	186,388		0	0	0	0	0	186,388	
雑費		0	142,010		0	0	0	0	0	142,010	
営業費		0	94,350,440		0	0	0	0	0	94,350,440	
売店費		0	0	0	0	0	0	0	0	69,313,708	
食堂費		0	0	0	0	0	0	0	0	65,522,410	
売店商品費		0	0	0	0	0	0	0	0	2,289,806	
食堂材料費		0	0	0	0	0	0	0	0	528,959	
売店光熱水費		0	0	0	0	0	0	0	0	972,533	
食堂光熱水費		0	0	0	0	0	0	0	0	25,036,732	
売店賃借料		0	0	0	0	0	0	0	0	17,258,061	
食堂賃借料		0	0	0	0	0	0	0	0	5,152,217	
食堂雜費		0	0	0	0	0	0	0	0	1,635,336	
営業管理費		0	0	0	0	0	0	0	0	991,118	
職員給料		0	0	0	0	0	0	0	0	63,123,412	
諸手当		0	0	0	0	0	0	0	0	9,406,560	
臨時雇賃金		0	0	0	0	0	0	0	0	8,388,361	
退職給付費用		0	0	0	0	0	0	0	0	26,404,870	
福利厚生費		0	0	0	0	0	0	0	0	782,735	
		0	5,049,526		0	0	0	0	0	5,049,526	

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

科 目		実施事業等会計		その他会計		法人会計		内部取引控除		合 計	
		他 1	他 2	共通							
旅費研修費		0	0	77, 500	0	0	0	0	0	77, 500	
通信運搬費		69, 013	0	0	0	0	0	0	0	69, 013	
広報宣伝費		741, 412	0	0	0	0	0	0	0	741, 412	
減価償却費		465, 705	0	0	0	0	0	0	0	465, 705	
消耗什器備品費		264, 545	0	0	0	0	0	0	0	264, 545	
消耗品費		504, 211	0	0	0	0	0	0	0	504, 211	
修繕費		83, 796	0	0	0	0	0	0	0	83, 796	
印刷製本費		413, 720	0	0	0	0	0	0	0	413, 720	
被服費		159, 323	0	0	0	0	0	0	0	159, 323	
賃借料		1, 071, 831	0	0	0	0	0	0	0	1, 071, 831	
保険料		50, 800	0	0	0	0	0	0	0	50, 800	
光熱水料費		46, 597	0	0	0	0	0	0	0	46, 597	
委託費		3, 179, 672	0	0	0	0	0	0	0	3, 179, 672	
支払手数料		11, 016	0	0	0	0	0	0	0	11, 016	
支払負担金		11, 000	0	0	0	0	0	0	0	11, 000	
諸謝金		105, 440	0	0	0	0	0	0	0	105, 440	
租税公課		5, 671, 639	0	0	0	0	0	0	0	5, 671, 639	
雑費		164, 140	0	0	0	0	0	0	0	164, 140	
管理費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
役員報酬		7, 474, 524	0	0	0	0	0	0	0	7, 474, 524	
職員給料		4, 803, 287	0	0	0	0	0	0	0	4, 803, 287	
諸手当		360, 540	0	0	0	0	0	0	0	360, 540	
退職給付費用		216, 332	0	0	0	0	0	0	0	216, 332	
福利厚生費		452, 065	0	0	0	0	0	0	0	452, 065	
旅費研修費		129, 577	0	0	0	0	0	0	0	129, 577	
通信運搬費		148, 080	0	0	0	0	0	0	0	148, 080	
会議費		50, 171	0	0	0	0	0	0	0	50, 171	
減価償却費		15, 812	0	0	0	0	0	0	0	15, 812	
消耗什器備品費		29, 329	0	0	0	0	0	0	0	29, 329	
消耗品費		20, 563	0	0	0	0	0	0	0	20, 563	
被服費		105, 755	0	0	0	0	0	0	0	105, 755	
印刷製本費		42, 928	0	0	0	0	0	0	0	42, 928	
光熱水料費		213, 300	0	0	0	0	0	0	0	213, 300	
賃借料		93, 193	0	0	0	0	0	0	0	93, 193	
保険料		189, 918	0	0	0	0	0	0	0	189, 918	
諸謝金		41, 260	0	0	0	0	0	0	0	41, 260	
租税公課		112, 366	0	0	0	0	0	0	0	112, 366	
支払負担金		29, 654	0	0	0	0	0	0	0	29, 654	
支払手数料		183, 540	0	0	0	0	0	0	0	183, 540	
委託費		13, 652	0	0	0	0	0	0	0	13, 652	
雑費		148, 381	0	0	0	0	0	0	0	148, 381	
		74, 821	0	0	0	0	0	0	0	74, 821	

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目		実施事業等会計		その他会計		法人会計		内部取引控除		合 計	
経常費用計		22,259,991	170,028,244	157,473,852	共通	0	7,474,524	0	357,236,611		
評価損益等調整前当期経常増減額		-21,615,178	6,290,446	21,898,174		0	-7,299,324	0	-725,882		
評価損益等計		0	0	0		0	0	0	0		
当期経常増減額		-21,615,178	6,290,446	21,898,174		0	-7,299,324	0	-725,882		
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益		0	0	0		0	0	0	0		
経常外収益計											
(2) 経常外費用		0	0	0		0	0	0	0		
経常外費用計											
当期経常外増減額		0	0	0		0	0	0	0		
他会計振替額		16,918,174	-7,299,324	-16,918,174		0	7,299,324	0	0		
実施事業等会計振替額		0	0	0		0	7,299,324	0	0	-16,918,174	
その他会計他1振替額		0	0	0		0	0	0	0	7,299,324	
その他会計他2振替額		16,918,174	-7,299,324	4,980,000		0	0	0	0	16,918,174	
法人会計振替額		0	-1,610,000	0		0	0	0	0	-7,299,324	
法人税等		0	-1,610,000	0		0	0	0	0	3,370,000	
その他会計他1法人税		0	0	4,980,000		0	0	0	0	-1,610,000	
その他会計他2法人税		0	0	4,980,000		0	0	0	0	4,980,000	
当期一般正味財産増減額		-4,697,004	601,122	0		0	0	0	0	-4,095,882	
一般正味財産期首残高		18,037,650	21,765,433	74,758,485		0	21,537,068	-8,603,000	127,495,636		
一般正味財産期末残高		13,340,646	22,366,555	74,758,485		0	21,537,068	-8,603,000	123,399,754		
II 指定正味財産増減の部		0	0	0		0	0	0	0		
当期指定正味財産増減額		0	0	0		0	0	0	0		
指定正味財産期首残高		0	0	0		0	0	0	0		
指定正味財産期末残高		0	0	0		0	0	0	0		
III 基金増減の部		0	0	0		0	0	0	0		
当期基金増減額		0	0	0		0	0	0	0		
基金期首残高		0	0	0		0	0	0	0		
基金期末残高		0	0	0		0	0	0	0		
IV 正味財産期末残高		13,340,646	22,366,555	74,758,485		0	21,537,068	-8,603,000	123,399,754		

平成 30 年度 事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成 24 年 2 月 1 日

2. 定款に定める目的

この法人は、非営利の一般財団法人として静岡市及び関係諸団体との協働及び連携により動物園事業の発展振興を図り、併せて動物の愛護思想を普及することにより、地域社会の健全な発展に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 動物園関係事業の共催
- (2) 動物に関する講演会、展覧会、研究会等の開催
- (3) 動物愛護運動及び教育普及事業の推進
- (4) 動物園の広報事業及びイベント事業
- (5) 環境保全、自然環境の保護等の意識啓発に係わる事業
- (6) 地域社会の健全な発展及び高齢者の福祉の増進に寄与する事業
- (7) 印刷物の刊行
- (8) 動物園附帯事業の経営及び受託
- (9) 動物園等における物品及び飲食物販売事業
- (10) その他この法人の目的達成上必要な事業

4. 主たる事務所の状況

主たる事務所：静岡県静岡市駿河区池田 1767 番地の 6

5. 役員等に関する事項

平成 31 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職 等
理事長	湯本昌人	常 勤	元静岡市 駿河区長
理 事	大石貴生	非常勤	静岡市 觀光交流文化局次長
理 事	柿島安博	非常勤	静岡市 觀光交流文化局日本平動物園園長
理 事	田宮一彦	非常勤	静岡市東豊田学区自治会連合会会長
理 事	永田重郎	非常勤	静岡市老人クラブ連合会会長
理 事	佐野正卓	非常勤	静岡市ホテル旅館協同組合副理事長
理 事	勝山俊輔	非常勤	しづてつジャストライン株式会社総務課長
監 事	若林紀伸	非常勤	株式会社静岡銀行呉服町支店理事支店長
監 事	青木隆知	非常勤	公認会計士

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職 等
評議員	吉井博昭	非常勤	静岡市 総務局次長
評議員	和田明久	非常勤	静岡市 財政局次長兼財政部長
評議員	高山 広	非常勤	静岡市校長会（清水飯田東小学校校長）
評議員	鈴木富美子	非常勤	静岡市立こども園園長会 (東豊田こども園園長)
評議員	生子哲男	非常勤	元静岡市獣医師会会长
評議員	坪井英明	非常勤	静岡市駿河区自治会連合会会长
評議員	木宮岳志	非常勤	学校法人常葉大学常務理事兼法人事務局長

6. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議事事項
第1回 平成30年6月5日	1. 平成29年度事業報告及び収支決算の認定について 2. 公益目的支出計画実施報告書等の提出について 3. 評議員会の招集について
第2回 平成31年3月25日	1. 平成31年度事業計画及び収支予算について 2. 評議員会の招集について 3. 定款第31条第2項に定める重要な使用人の選任及び解任について

(2)監事会

開催年月日	議事事項
平成30年6月1日	平成29年度一般財団法人静岡市動物園協会各種事業会計決算監査

(3)評議員会

開催年月日	議事事項
第1回 平成30年6月19日	1. 平成29年度事業報告及び収支決算の認定について 2. 公益目的支出計画実施報告書等の提出について
第2回 平成31年3月25日	1. 評議員の辞任及び選任について 2. 理事の辞任及び選任について 3. その他

7. 職員に関する事項

性 別	平成 30 年度			平成 29 年度		
	職員数	平均年齢	平均勤続年数	職員数	平均年齢	平均勤続年数
男 子	15 名	47 歳	16 年	17 名	46 歳	16 年
女 子	3 名	55 歳	19 年	3 名	54 歳	17 年
合計又は平均	18 名	48 歳	17 年	20 名	48 歳	16 年

8. 職員給与の支給状況

年 度	職員数	平均給与支給額	平均年齢	うち静岡市OB
平成 30 年度	18 名	565 万円	48 歳	2 名
平成 29 年度	20 名	527 万円	48 歳	2 名

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

各事業の経過及び成果については、次のとおりである。

(1) 公益目的事業

① 教育普及事業

動物園、ガイドボランティアと協働し、子どもたちの動物愛護の心を育み、命の大切さを学ぶ情操教育、絶滅危惧種から環境破壊を考える環境教育等への取り組みを行った。

動物クラフト

園内で採取した動物に関する物や、植物などを使用することにより、動物園に対する親近感を感じてもらえるように実施し、多数の参加者があった。

実施月	内容	参加人数	前年度
6 月	缶バッジ作り	78 人	8 人
7 月	動物折り紙短冊作り	45 人	50 人
10 月	ドリームキャッチャー作り	6 組	7 人
12 月	クリスマスリース作り	23 人	12 人
	クリスマスツリー作り	20 人	20 人
1 月	ゾウさんペーパーの開運しおり	12 人	19 人

2月	缶バッジ作り	33人	63人
	プラ板ストラップ作り	4人	14人
3月	缶バッジ作り	100人	85人

めざせ！動物園博士

「入門コース」から「専門コース1・2・3・4」と段階的に行うことで、動物の生態や能力、また動物たちを取り巻く自然環境について学ぶことができ、現在すべてのコースを終え、121名の方が博士認定された。

実施日	区分	実施内容	参加者 (前年度)	ボランティア (前年度)
10月7日	めざせ！動物園博士 入門コース	グループ参加可能の入門編 動物園内を一周するクイズラリー 「日本平動物園のヒミツを知ろう！」	12名 (26名)	3名 (6名)
5月20日	めざせ！動物園博士 専門コース(その1)	「もっと知りたい日本平zoo」	11名 (13名)	6名 (3名)
9月2日	めざせ！動物園博士 専門コース(その2)	「走って、飛んで、隠れて」	17名 (8名)	3名 (4名)
11月11日	めざせ！動物園博士 専門コース(その3)	「いつだって親は大変！」	12名 (21名)	3名 (3名)
2月3日	めざせ！動物園博士 専門コース(その4)	「守れ！絶滅危惧動物」	4名 (16名)	3名 (3名)
2月10日	めざせ！動物園博士 入門コース	グループ参加可能の入門編 動物園内を一周するクイズラリー 「日本平動物園のヒミツを知ろう！」	13名 (実施無し)	3名 (実施無し)
		累計博士達成者数 (平成20年度～)	121名	
7月8日	日本平動物園博士 学会(夏の部)	新ホッキョクグマ舎バックヤード	15名 (13名)	3名
11月18日	日本平動物園博士 学会(冬の部)	野毛山動物園・馬の博物館の視察	28名 (31名)	4名

動物園親子教室

紙芝居、工作、園内見学等を通して親子の日常に動物が共通の話題となるきっかけ作りを提供し、多数の親子が参加した。

実施日	テーマ	実施内容	参加者	前年度	
				ボランティア 参加者	ボランティア 参加者
4月 27 日 5月 25 日	レッサーパンダ	紙芝居「日本平のたいらちゃん」 絵本シアター「バクのあかちゃん」	18名 19名	12名 15名	20名 18名
6月 22 日 7月 27 日		紙芝居「ダンボとシャンティ」 絵本「とらってすごい！」 「おおきくなりたいちびくま君」	17名 17名	13名 11名	15名 16名
8月 24 日 9月 28 日	ペンギン	「どうさんのあしのうえで」 動物クイズ	16名 17名	12名 14名	17名 16名
10月 26 日 11月 23 日		工作「木のぼりレッサーパンダ」 「やじろべー」 「がおがおライオン」	15名 16名	10名 13名	17名 17名
12月 28 日 1月 25 日	ホッキョクグマ	「ゾウのうんちで紙作り」 「動物キューブ」	13名 16名	12名 11名	17名 15名
2月 22 日 3月 22 日		「コロコロペンギン」 動物見学・飼育員のお話し	16名 17名	13名 12名	18名 19名

※参加応募枠(20名)はすべて埋まっており、少ない月は 当日欠席の為

ツアーガイド

小学生から一般の方までの幅広い層で申し込みを受付、動物の体の仕組みや環境問題について学習できる園内ガイドを実施した。

コース名	テーマ	実施内容	実績	ボランティア	前年度	
					実績	ボランティア
Aコース 小学校 低学年	動物園トリビア	動物を観察しながら、楽しく学ぶ	19回 1,239名	延べ 165名	18回 1,173名	延べ 292名
フリーコース		リクエストに応じて園内ガイドを実施	11回 474名		14回 530名	
その他	鳥の羽根と糞を使用したハンズオンガイド		8回		17回	

職場体験学習

静岡市教育委員会と連携し、当協会において接客、販売補助、業務補助をおして、中学生に望ましい勤労観、職業観をもたせ、社会人として自立する力を養うための事業を実施した。

実施日	受入中学校及び人数
5月15日から5月17日まで	静岡市立觀山中学校 3名
5月22日から5月23日まで	静岡市立服織中学校 3名
5月29日から5月31日まで	静岡市立安東中学校 3名

② イベント推進事業

動物園に課される役割の一つに「レクリエーションの場」であることが挙げられる。

当協会では、来園される多くの方々が動物園を有効利用することにより、動物達のすばらしい能力に感動し、生きていることを実感できる場として余暇をリラックスし楽しく過ごしていただくための場を提供するため、年間を通して様々なイベントを実施した。

春のフォトコンテスト

実施日	応募総数 (優秀作品) ※1人1点のみ	前年度 ※1人3点まで	実施内容等
3月14日から	35点	75点	日本平動物園の園内風景、動物写真のコンテスト
4月5日まで	(5名)	(7名)	金賞 「春を感じて・・・」

七イベント

実施期間	実施内容等
6月26日から 7月8日まで	笹、短冊を設置して、来園者から願い事を募集し、願い事の中から、「1日こども園長」、「園長と歩く動物園」を8月1日の開園記念日に実施

開園記念日

実施日	実施内容等	
8月1日	記念うちわプレゼント	コート紙 本体部分樹脂加工 4色印刷 2,000枚
	1日こども園長	来園者への記念品の配布や小動物とのふれあいの実施
	園長と歩く動物園	日本平動物園園長による園内ガイド

日本平動物園×けものフレンズコラボ

開催日	イベント及び広報活動	内容
6月30日から 9月2日まで	パネル展示	計34種のキャラクターパネルを展示
	スタンプラリー(7,056人)	園内6ヶ所にあるスタンプを集めて景品と交換
	コラボグッズ販売	オリジナルコラボグッズを販売(10種類)
	園内放送	けものフレンズ声優による園内イベントのアナウンス
	ジャパリバスのような車の展示	アニメに登場する「ジャパリバスのような車」を展示し、クレープを販売
	コラボフード販売	オリジナルコラボフードを販売
	SNS活用	Twitter・YouTubeにてコラボイベント情報を配信
	東武動物公園コラボ	東武動物公園ニコ生「Zooっと友達チャンネル」に出演し、日本平動物園イベント情報のPR
	ニコニコ動画生放送	けものフレンズプレゼンツニコ生「どうぶつ図鑑2」に出演し、日本平動物園イベント情報をPR

動物慰靈祭

実施日	実施内容等
9月23日	過去1年の死亡動物の慰靈・名簿納め

スタンプラリー

実施日	参加総数	前年度	実施内容
10月13日から 10月31日まで	4,021人	4,400人	秋の動物園まつりの期間中に開催 参加者にはオリジナルグッズプレゼント
12月1日から 12月24日まで	2,687人	実施無し	クリスマスウィークの期間中に開催 参加者にはオリジナルグッズプレゼント

着ぐるみと記念撮影

実施日	実施内容等	
10月27日 12月24日	たいらちゃんの着ぐるみ	来園者を対象に、日本平動物園のイメージキャラクターの「たいらちゃん」の着ぐるみと記念撮影

正月イベント

実施日	実施内容等		配布数及び参加者数 (前年度)
1月2日 1月3日	干支の置物プレゼント	猪年にあたり猪の置物をプレゼント	各日100個 (各日200個)
1月6日	子ども餅つき体験	子どもたちに餅つきの体験をしてもらう	60人 (60人)

バレンタインクイズラリー

実施日	参加総数	前年度	実施内容等
1月26日から 2月14日まで	3,514人	2,124人	問題のある場所3カ所をクイズを解いて行ってもらい問題を解く。 正解の方にオリジナルグッズのプレゼント

バレンタイン ドキドキ 動物園

期間：2月2日～2月14日

実施日	実施内容等	
2月6日	プラバン作り	世界に一つしかないプラバンを作つてもらいストラップを付けてプレゼント
2月10日 2月11日	ライオンの声に負けるな！	愛の大声コンテスト ※動物園主催

③ 市民団体等の指導育成及び協働事業

動物園関係事業を補完するため、飼育、研究等を担当する動物園とともに動物の愛護運動を通じ豊かな心の醸成に取り組んでいる。近年のボランティア志向の高まりを受け、当協会では各事業を推進するためガイドボランティアの指導、育成及び市民団体の窓口に努めた。

ガイドボランティア登録者数 109名

ボランティア新人研修

実施日	実施内容	参加者数	前年度
6月3日	オリエンテーション、現場見学		
6月10日	ふれあい研修、班別研修	15名	8名

その他の活動

毎月第3金曜日 ツアーガイド班月例ミーティング

毎月第4日曜日 日本平動物園ガイドボランティア (NZGV) 全

ボランティア（花壇関係）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	2回	3回	2回	2回	1回	2回	2回	1回	2回	1回	2回	2回	21回
人数	9名	11名	7名	10名	5名	5名	8名	4名	8名	4名	5名	7名	83名
前年 度	2回 9名	2回 7名	2回 9名	3回 11名	2回 7名	2回 7名	1回 4名	2回 8名	2回 8名	2回 3名	2回 9名	1回 4名	23回 92名
活動 内容	草取り 種まき 苗植え 花壇整備（レストハウス横・山頂山麓・エントランス）												

静岡市造園緑化協会

花の植え替え

実施回数 年 3回

実施内容 正面入口エントランスホールのプランター、レストハウス入口花壇に季節を感じることで
きる花を植え替えた

④ シティプロモーション事業

動物園との協働で多様な情報発信により、来園者増加を図るためイベント案内の送付、各
機関と連携した観光案内マップ等への広告の掲載を通じてプロモーション活動を実施した。

機関誌（Z o o しづおか）の発行

号 数	内 容
第 85 号 2,000 部	[特集] ふれあい動物園でバードフライト 夏のお披露目に向けて絶賛トレーニング中 [ヒストリー] 日本平動物園 飼育の歴史～クマ編～ [お知らせ] オオアリクイ舎が見やすくリニューアル 春のフォトコンテスト めざせ！動物園博士 [チェック] 園の注目スポット&イベント
第 86 号 2,000 部	[ワイルドライフ] のしのし、イノシシ！ [特集] フタユビナマケモノの繁殖 [レポート] ハクトウワシの繁殖 秋の写生大会 めざせ！動物園博士 園内の注目スポット&イベント

動物園まつりポスター・チラシの作成配布

作成物 作成枚数	実施期間	配布先	
夏の動物園まつり チラシ 140,000 部 ポスター 2,400 部	7月 28 日から 8月 26 日まで	静岡市 焼津市 藤枝市 富士市	小学校・保育園・幼稚園・こども園(全員配布) 観光会社(25 部) その他施設(500 部)
秋の動物園まつり チラシ 140,000 部 ポスター 2,400 部	10月 6 日から 11月 4 日まで	上記以外の 県内	小学校・保育園・幼稚園・こども園(25 部) 観光会社(25 部)
春の動物園まつり チラシ 140,000 部 ポスター 2,400 部	3月 9 日から 4月 7 日まで	県外	観光会社(25 部)

動物カレンダーの作成及び配布

作成部数	仕様	内容
月捲りカレンダー 2,000 部	B4 版・28 頁 カラー写真 13 点使用	12月の土曜、日曜、祝日の先着 20組に、2019年オリジナルカレンダーをプレゼント
ポスターカレンダー 2,000 部	B3 版・1枚 カラー写真 12 点使用	1月 4 日、5 日、6 日の先着 100 人に、2019 年オリジナルポスター カレンダーをプレゼント

観光マップ等広告掲載

掲載方法	対象地域等
「高速道路ロードマップ」(静岡市エリア)	周辺主要「道の駅」 近郊主要サービスエリア 観光案内所 観光施設

入園者増対策

区分	引換実績	前年度	実施内容等
平成 30 年度	104 件	155 件	雨の日及び平日の来園者にポイントカードを配布して、ポイントに応じてオリジナルグッズをプレゼント

(2) 受託事業

静岡市立日本平動物園園内管理業務及び入園料等徴収事務を受託し、利用者が施設を快適に利用できるよう次の業務を実施した。

園内管理業務

- (ア) 入園者に対する売改札及び案内業務
- (イ) 駐車場の運営
- (ウ) 遊戯施設の運営
- (エ) 動物園内清掃（動物収容施設を除く）

入園料等徴収事務

利用者から徴収した入園料及び施設使用料は次のとおりである。

駐車場使用料の徴収

内 訳	区分	使用料	平成30年度		平成29年度	
			台数	金額	台数	金額
	大型車	1台 1,540円	1,036台	1,595,440円	1,026台	1,580,040円
	普通車	1台 610円	130,793台	79,783,730円	132,888台	81,061,680円
計			131,829台	81,379,170円	133,914台	82,641,720円

入園料の徴収

内 訳	区分	入園料	人 数	金額	人 数	金額
	一般（大人）	1人 610円	244,595人	149,202,950円	256,543人	156,491,230円
	一般（小人）	1人 150円	39,770人	5,965,500円	39,075人	5,861,250円
	団体（大人）	1人 490円	18,487人	9,058,630円	19,395人	9,503,550円
	団体（小人）	1人 120円	4,268人	512,160円	5,460人	655,200円
	定期（大人）	1人 2,400円	2,466人	5,918,400円	2,467人	5,920,800円
	定期（小人）	1人 600円	47人	28,200円	36人	21,600円
	定期（リピーター）大人	—	13,248人	0円	12,795人	0円
	定期（リピーター）小人	—	152人	0円	149人	0円
	施設利用契約	—	18,026人	1,859,480円	15,995人	1,948,860円
計			341,059人	172,545,320円	351,915人	180,402,490円

遊具使用料の徴収

内 訳	区分	使用料	回 数	金額	人 数	金額
	電動遊具（大型）	1回 300円	28,573回	8,571,900円	42,263回	12,678,900円
	電動遊具（補助券）	1回 100円	1,303回	130,300円	1,871回	187,100円
	自動遊具	1回 100円	8,648回	864,800円	22,174回	2,217,400円
	回数券（22枚綴）	1冊 1,000円	1,132冊	1,132,000円	1,725冊	1,725,000円
計				10,699,000円		16,808,400円

オートチェア及びローラースライダー使用料の徴収

内 訳	区分	使用料	回 数	金額	人 数	金額
	オートチェア	大人 100円	123,448回	12,344,800円	137,267回	13,726,700円
		小人 50円	34,661回	1,733,050円	38,399回	1,919,950円
	ローラースライダー	大人 200円	40,459回	8,091,800円	40,747回	8,149,400円
		小人 100円	28,052回	2,805,200円	28,566回	2,856,600円
	50円券（補助券）	1枚 50円	542枚	27,100円	227枚	11,350円
計				25,001,950円		26,664,000円

合 計	289,625,440円	合 計	306,516,610円
-----	--------------	-----	--------------

(静岡市収納金)

(3) 収益事業

日本平動物園内において物販及び飲食等のサービス事業を実施した。
本年度は、ショップ、レストハウスメニューの充実に努めたほか、けものフレンズコラボ商品の販売や、レッサーパンダくじなど新たな販売方法に取り組んだ。

収益事業収入

(ア) 販売事業収入	平成30年度	平成29年度
売店事業収入	<u>116,307,900円</u>	<u>113,812,845円</u>
ぬいぐるみ、ソフトクリーム等の売上収入		
ショッピング	5ヶ所	5ヶ所
食堂事業収入	<u>41,427,510円</u>	<u>40,903,710円</u>
ラーメン、カレーライス等の売上収入		
レストハウス	1ヶ所	1ヶ所
自動販売機等事業収入	<u>12,158,332円</u>	<u>12,279,384円</u>
自動販売機	27台	27台
移動販売車	5台	4台
(イ) その他の事業収入	<u>4,250,678円</u>	<u>2,761,537円</u>
ベビーカー貸出	2ヶ所	2ヶ所
ガイドマシン（動物説明機）設置	13台	14台
プリントマシン	1台	1台
コインロッカー設置	1ヶ所	1ヶ所
望遠鏡設置	4台	6台
ガチャガチャ機	1ヶ所	-
自動遊具	13台	-
双眼鏡	10台	-
合　計	<u>174,144,420円</u>	<u>169,757,476円</u>

2. 事業の総括

平成 30 年度の入園者数、損益の状況、財産の状況は下表のとおりであり、収益増に伴い、経常増減額の改善を図ることができた。

直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分		28 年度	29 年度	30 年度	
入 園 者 数		581, 183 人	558, 566 人	539, 395 人	
損 益 状 況	経 常 収 益	公益目的事業 受託事業 収益事業 法人会計 合 計	985 174, 359 173, 257 262 348, 863	701 174, 745 170, 042 156 345, 644	644 176, 319 179, 372 175 356, 510
	経 常 費 用	公益目的事業 受託事業 収益事業 法人会計 合 計	22, 787 175, 576 150, 318 9, 252 357, 934	21, 035 172, 193 154, 117 7, 558 354, 903	22, 260 170, 028 157, 474 7, 474 357, 236
	経 常 増 減 額	公益目的事業 受託事業 収益事業 法人会計 合 計	△21, 802 △1, 217 22, 9392 △8, 990 △9, 070	△20, 334 2, 551 15, 924 △7, 401 △9, 259	△21, 615 6, 290 21, 898 △7, 299 △725
		法人税等	6, 200	6, 210	3, 370
		当期正味財産増減額	△15, 270	△15, 469	△4, 095
		正味財産期首残高	158, 235	142, 965	127, 495
		正味財産期末残高	142, 965	127, 495	123, 399
	財 産 状 況	資産合計 負債合計 正味財産	266, 830 123, 865 142, 965	257, 921 130, 426 127, 495	247, 789 124, 390 123, 399

附 屬 明 細 書

1. 特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	退職給付引当資産				
	定期預金(静岡市農協／豊田)	5,000,000	0	0	5,000,000
	定期預金(静岡市農協／豊田)	5,000,000	0	0	5,000,000
	普通預金(静岡銀行／吳服町)	40,000,000	0	0	40,000,000
	普通預金(静岡市農協／豊田)	653,730	167,010	0	820,740
	普通預金(静岡市農協／豊田)	1,764,560	452,065	0	2,216,625
	普通預金(静岡市農協／豊田)	34,681,910	6,160,765	15,154,480	25,688,195
	普通預金(静岡市農協／豊田)	4,491,765	782,735	0	5,274,500
	静岡県平成27年度第4回公募公債(岡三証券／静岡)	10,000,000	0	0	10,000,000
	減価償却引当資産				
	普通預金(静岡市農協／豊田)	1,458,801	29,329	0	1,488,130
	普通預金(静岡市農協／豊田)	19,722,183	465,705	0	20,187,888
	公社債投信(SMBC日興／静岡)	3,233,726	0	0	3,233,726
	運営資金積立資産				
	普通預金(静岡銀行／吳服町)	711,121	0	0	711,121
	普通預金(静岡市農協／豊田)	7,858,438	0	0	7,858,438
	公社債投信(SMBC日興／静岡)	1,000,000	0	0	1,000,000
	静岡市平成27年度第1回公募公債(大和証券／静岡)	10,000,000	0	0	10,000,000
	設備投資積立資産				
	定期預金(大和ネクスト／ダイコク)	10,000,000	0	0	10,000,000
	特定資産計	155,576,234	8,057,609	15,154,480	148,479,363

2. 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	101,591,965	7,562,575	15,154,480	0	94,000,060

監 査 報 告 書

令和元年5月30日

一般財団法人静岡市動物園協会
理 事 長 湯 本 昌 人 様

監 事 若 林 紀 伸
監 事 青 木 隆 知



私たち監事は、当協会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条に準用する第99条第1項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、静岡市動物園協会の会議室において業務及び財産の状況を調査しました。

以上 の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムの整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

監 査 報 告 書

令和元年5月30日

一般財団法人静岡市動物園協会
理 事 長 湯 本 昌 人 様

監 事 若 林 紀 伸

監 事 青 木 隆 知



私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度に係る公益目的支出計画実施報告書の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当協会の事務所において公益目的出計画実施報告書について監査しました。

2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。